

令和7年9月

## 北九州空港護岸整備に伴う航行安全対策調査専門委員会

### 1 委員会報告書概要

本委員会では、北九州空港の護岸改良工事における航行船舶および工事作業船の航行安全対策について調査・検討を行った。

対象海域は、北九州空港の航空機の離発着に係る進入表面や転移表面の制限表面が設定されている。また、対象海域の北側には大型フェリー等が入出港する関門港新門司区が、南側には大型の RORO 船や自動車航送船等が入出港する苅田港が位置している。さらに周辺海域では底引き網や烏賊かご等の漁業活動が活発に行われている。

調査検討にあたっては、航空機の離発着に影響を与えないことと、一般航行船舶の安全を確保するとともに安全で効率的な工事を実施するため、提示された施工計画を基に航行船舶の実態と工事作業区域の関係や作業船の高さと制限表面の関係を整理して課題を抽出したうえで、工事施工時間帯の確認、工事区域の設定と標示の要否、資機材運搬船と一般航行船舶の航行経路の関係、作業船の待機場所の設定、警戒船の配備等の課題について、船舶航行の安全確保の観点から総合的な検討を行った。

### 2 調査等概要

- (1) 整備計画の概要
- (2) 航行環境
- (3) 検討課題の整理
- (4) 安全性の検討
- (5) 航行安全対策の検討